



🚂 2022年は どんな年に 🚂

あけましておめでとうございます。

2022年は、十二支の3番目にあたる寅年になります。虎は、勇敢で争いごとにも強く、堂々とした印象がありますが、寅年は「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる」と言われています。新型コロナウイルスの感染拡大が、私たちの生活に大きな影響を与えましたが、2022年は、厳しい冬を乗り越えて、新しい成長が始まる年にしたいものです。

さて、2022年は、学校においても、大きな改革が3つあります。

まず、「入試改革」です。2023年度入試から公立高校の入試制度が変わります。次に、「部活動改革」です。2023年度から休日の部活動を段階的に地域に移行するという考えが文部科学省から示されています。そして、「校則改革」です。2023年度の新制服の導入に伴い、校則の見直しと検討が始まります。

### ① 入 試 改 革

愛知県の公立高校では、2023年4月に入学する人が受検する入試から、新しい制度になります。一般選抜で2校に出願できるのはこれまでどおりですが、学力検査は1回となります。また、推薦選抜などの時期が早まって2月上旬となり、一般選抜の合格者発表もこれまでより早くなります。さらに、高校や学科の特色を生かした「特色選抜」が導入されるなど、現在の制度から大きく変わるところがあります。

このことを踏まえて、2年生の生徒・保護者を対象に、3月に進路説明会を開催いたします。後日、開催のご案内をさせていただきますので、ご承知おきください。

詳細は、「愛知の教育」ホームページをご覧ください。↓

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotogakko/368047.html>)

#### <変更のポイント>

一般選抜の学力検査の回数が2回から1回となり、解答はマークシート方式になります。

推薦選抜の実施時期が早まり、2月上旬となります。

一般選抜で面接を実施するかどうかは、高校ごとに決定します。

高校や学科の特色を生かした「特色選抜」を導入します。

## ② 部活動改革

2020年9月に文部科学省から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が発表されました。この通達の趣旨は、「学校部活動を地域部活動に移行していく」というもので、休日（土・日・祝日等）の部活動を学校から地域に移行するという考えが記載されています。この取組では、2021年度からモデル地域等で環境整備等を行い、2023年度から休日の部活動を段階的に地域に移行するとなっています。すでに、愛知県内の多くの小学校が、今年度をもって課外クラブを廃止し、地域活動への移行を検討している動きがあります。近い将来、中学校の部活動もなくなるかもしれません。

半田中学校では、部活動を生徒の自主的活動の場と位置づけています。生徒が自ら考え、判断し、行動していくことで、変化の激しい社会においてもたくましく生き抜く力を育てていきたいと考えています。

部活動では、共通の目標をもち、その達成のために、生徒同士が解決策を話し合って練習に取り組んでいます。勉強も部活動も学校行事も、全力でがんばっている生徒は、「人間力」が伸びています。仲間とともにがんばる経験は、どんな困難にも立ち向かっていこうとする強い気持ちを養います。今後も、生徒が主体的に取り組める部活動を大切にしていきます。



## ③ 校則改革

2023年度より、半田市では新しい制服が導入されます。現在の小学5年生から制服の選択の幅が増えて、男女の区別なく自分に合った制服を選ぶことができます。現在、生徒会が中心となって、半田市らしい制服のデザインについて、5中学校の代表が集まる生徒会サミットで話し合いを進めています。それに伴い、半田中学校の校則の見直しと検討も始まります。

半田中学校の74年の歩みの中で、昭和の時代、平成の時代、それぞれの時代に合った校則が検討されてきて、今に至っていると思います。昭和から平成に変わる時代では、学校週5日制となり、個性化教育や総合的な学習が設けられました。

そして、令和の時代は、GIGAスクール構想により、一人一台のタブレット端末が導入されました。そして、教師の一方通行の授業を脱却し、生徒自身が主体的・能動的に参加する授業に変わり、道徳の教科化やプログラミング教育も設けられました。令和の時代は、「だれもが気持ちよく生活するためにどうあるべきか」を考える時代だと思います。「中学生らしさ」という曖昧なものではなく、みんなが気持ちよく生活するためにどんな生活のルールが必要なのかを、一度、ゼロベースで考え直していけたらよいと思います。

